

関徹氏を擁立 来年の県議選 鶴岡市選挙区



共産党県委員会は14日、2015年におこなわれる一斉地方選挙の県議選で、山形市選挙区に現職の渡辺ゆり子氏(62)を、鶴岡市選挙区に新人の関徹氏(53・鶴岡市議)を擁立すると発表しました。

旧東田川郡役所及び郡会議事堂 (現・東田川文化記念館)が巻頭写真に 『近代遺跡調査報告書 政治(官公庁等)』 本年3月・文化庁発刊

重要な近代政治史
跡と評価

文化庁は、1996
(平成8)年度から近
代遺跡調査を工業、農
水業、社会、政治等の

各分野で進めています。
今回は各県の「遺跡
所在調査政治(官公庁
等)」で、304件の中
から38件を選び詳細調
査を依頼しました。
その中で旧東田川郡

役所及び郡会議事堂が

選ばれ、郷土研究サー
クルの青山崇さんに執
筆依頼され、報告書が
文化庁から3月に発刊
されました。

官公庁とは、県庁・
郡役所・議事堂、裁判
所・刑務所、領事館、
税関等のことです。

県内で選ばれたのは
旧山形県庁と県会議事
堂の2つ、郡政では東
田川郡役所と伊達郡役
所(福島)、旧宇土郡役
所(熊本)の3つです。
報告書の中で旧東田
川郡役所及び郡会議事
堂が巻頭写真として掲
載されています。

現在地に議事堂も

なぜ巻頭写真に選ば
れたのでしょうか。

青山氏によると、「察
するに、郡役所と郡会
議事堂が共に移転され
ず建築場所にあること、
また郡役所が正面・中
心にあつて議事堂はそ
こに行く左手前にあり、
行政が立法より上位に
ある配置になつていて
当時の政治を表わして
いることなどが評価さ
れたのであろう」との
ことです。

鶴岡市の旧西田川郡
役所などのようにほと
んどが移転保存され、
郡会議事堂の併設保存
が見られない中で、全
国的に重要な史跡とさ
れた意義は大きなもの
があります。
なお「報告書」は東
田川文化記念館にあり
ます。

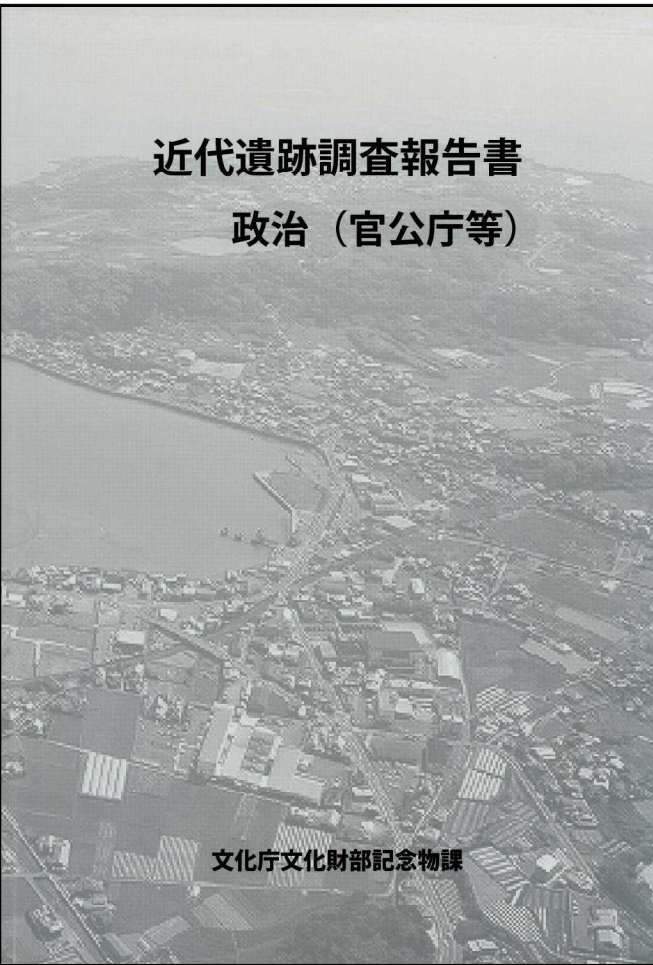
場所が「藤島地区活動センター(藤島公民館)」に変更しました

藤島義民顕彰板建立4周年

日時 2014年7月22日(火) 14:00~
場所 藤島地区活動センター(藤島公民館)
講話 ワッパ騒動義民顕彰のこれまでと
菅原文太講演について
講師 星野正紘(ワッパ騒動義民顕彰会
事務局長)
懇談 ワッパ騒動義民顕彰と菅原文太講
演の成功にむけて
懇親会費 2,000円(懇親会不参加の方は参加費無料)



近代遺跡調査報告書 政治(官公庁等)



文化庁文化財部記念物課



旧東田川郡役所及び郡会議事堂(山形県鶴岡市)



旧門司税関(右の建物)と船溜(福岡県北九州市)

日本共産党演説会

7月21日(月)
午後6時～8時
東京第一ホテル鶴岡



弁士：穀田恵二
衆議院議員・国対委員長

主催：日本共産党山形県委員会 (023-644-1212)
同 鶴岡地区委員会 (0235-22-3313)

学校給食

—学校給食法60年に思う—

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗7月9日付、「給食は人間つくる基本 学校給食法60年 原点に返るとき」である。「1889年(明治22年)、山形県の小学校で貧しい子どもたちにお坊さんが食事を出したのが始まり」と書いてある。鶴岡市大督寺に設けられた私立忠愛小学校のことで、学校給食発祥の地碑がある。

私は、給食というと、小学生の頃弁当を持たされない子(欠食児童)が数人いて、昼食になると教室から出て行く悲しい姿を思い出す。しかし1954年、教師や保護者の運動で、給食は学校教育の一環



とする学校給食法が制定され、こういうことがなくなると安堵した。憲法26条は、義務教育は無償とするとしている。

しかし政府は、無償とは授業料なしのことだと矮小化し、金のかかる学校(給食費は4千円前後)になり、家の経済事情で心痛める

「憲法を改正せよ」という意見書を国に出すことが、自民の賛成で通ったというんだ。▼福島県会でもヤラレタというからどの県でも6月議会に出されたんでしょ。この方々(自民の県議)はどんなところをなぜ変えようというのか、当然有権者(県民)に説明する責任があります。いつになるんですか。

▼時將に、戦後戦争を放棄した国として世界中から信頼を得ていた日本が、憲法の読み方を変えて戦争ができる国にする。首相の個人的執念を自公の多数で通した時だったんだ。

▼社会保障を悪くしないで下さいとか年金を

子どもがいることを思うと、あの姿を思い出し心がまた痛むのである。

食同源と同じく教育同源である。給食は人間つくる基本、原点に返り、すべての子どもが安心して食べられる給食にして欲しい。すでに無料、あるいは半額補助している自治体はいくつかあつてやればできるのである。

(14・7・20)

下げるな、消費税を上げるなという請願は、自公の反対でダメになることが多いんだが、平和憲法を壊すことを自民の連中が日本中でシメシメ合せて「議員だけで」出したんだ。▼民主主義社会では、こういうヤリカタが一番やってはいけないことなんです。秘かにクーデターが仕組まれていたんです。恐ろしいことです。

▼おそろく安倍と石破の上意下達でシヨ。彼等には反論できない民主主義です。沖繩の県議が石破から基地移転についての公約を破らされたのを思い出せばわかるんです。

▼この議員達、普通に お付き合いしながら、ナニクワ又顔でこんな申し合わせをしていたんです。TPPに反対、消費税引き上げに反対と言いながら当選したんですがこれだつて。以後信用できないですよ。(石川)



しんぶん赤旗7月9日付

子を放つ土筆百万本の野へ

工藤 博司

野は季節によってさまざまな顔を見せる。ふきのとうは、少々雪が残っていても健気に貌を出す。土筆は存分に陽の当る頃を待つて芽を出しはじめる。日本語には、野をあらわすことばが豊かである。春だけとつてみても、つくし野、よもぎ野、すみれ野、うぐいす野、そして春野と。

土筆は野の続く限り続々と頭を出し、私達にとって限りなく親しい存在。その大地に足を入れ、幼

等と時間を忘れて過した記憶はいまも新しい。とりわけ歩きはじめたばかりの児を光と風のきらめく土筆野に立たせた感じは、まさに命あるものを解き放つたとの思いを深くする。大規模ショッピングセンターが遊び場になっていて現代の子どもには、思い切り大自然に触れられるところこそ冒険を求めさせてやりたいと思う。



(画・加藤貞雄)